

令和 6 年度

外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業 事業成果報告書

【外部講師を活用して実施するがん教育の推進に係る取組】

1 事業の具体的内容について

(1) 自治体における取組

① 協議会について

1. 構成員

14名【内訳：大学教授2名(医学系研究科1名、保健医療学部1名)、大学附属病院長1名、学校医2名(小児科、内科医)、学校歯科医1名、学校薬剤師1名、がん患者団体連絡協議会1名、PTA連合会1名、高等学校PTA連合会1名、県看護協会1名、県立がんセンター医師1名、保健所長1名、県健康福祉部感染症・がん疾病対策課主監1名】

2. 開催時期、検討内容

期 日	場 所	内 容
10月1日(火) 19:00～20:30	群馬県庁 292 会議室	・がん教育に関する計画、教材、内容や進め方について ・がん教育推進のための外部講師整備体制等について
2月3日(月) 19:00～20:30	群馬県庁 292 会議室	・今年度の取組及び来年度の計画について ・各学校での取組の推進について ・今後のがん教育の内容や進め方について

② 検討委員会について

1. 構成員

15名【内訳：大学准教授1名(大学院保健学研究科)、教員3名(小学校1名、中学校1名、高等学校1名)、養護教諭3名(小学校1名、中学校1名、高等学校1名)、指導主事7名(県内各教育事務所及び市教育委員会事務局)、県健康福祉部感染症・がん疾病対策課主任1名】

2. 開催時期、検討内容

期 日	場 所	内 容
11月22日(金) 15:10～16:10	安中市立安中小学校 会議室	・第一中学校でのがん教育授業及び取組内容の検討及び説明 ・今後の予定や方向性、指導者研修会等の持ち方
12月3日(火) 13:50～14:50	安中市立第一中学校 大会議室	・安中小でのがん教育授業及び取組内容の検討及び説明 ・小中高での系統性を踏まえた学習の課題
11月11日(月) 15:00～16:00	群馬県立安中総合学園高 等学校 会議室	・安中総合学園でのがん教育授業及び取組内容の検討及び説明 ・がん教育を推進する上での課題及び外部講師の活用

③ 教育委員会としての取組

7月	1 関係機関と打合せ 2 がん教育に関する指導者研修会 7月17日(水)～8月30日(金) オンライン配信 ① 講義 「今、なぜがん教育なのか？正しい知識と理解 がん教育の研究と実践」 講師 国立大学法人 群馬大学 情報学部 片山 佳代子 准教授 ② 実践発表 「令和5年度がん教育の実践について」 発表者① 沼田市立薄根小学校 教諭 浅見 敏子 発表者② 沼田市立薄根中学校 教諭 大澤 誠（現任校 沼田市立沼田西中学校 教頭） 発表者③ 県立沼田女子高等学校 教諭 長岡 玲子
8月	1 実践校事前アンケート実施及び集計 2 関係機関と打合せ、協議会及び検討委員会等開催準備 3 組織づくり(協議会) 4 実践校と打合せ（安中小、安中一中、安中総合学園）
9月	1 外部講師選定、派遣申請（安中小学校・第一中学校、安中総合学園高等学校） 2 文部科学省主催 9月12日(木)～30日(月) YouTubeによる動画配信 がん教育「教材活用研修会」及びがん教育「外部講師活用研修会」について 実践に役立てるため研修会への参加を県内の教職員及び関係機関へ通知
10月	1 第1回協議会開催 10月1日(水) 群馬県庁 292 会議室 2 実践校打合せ等（指導案及び教材等検討）安中市立第一中学校 3 実践校講演会（安中市立安中小学校）
11月	1 実践校講演会（群馬県立安中総合学園高等学校） 2 授業実践、第1回検討委員会開催（群馬県立安中総合学園高等学校） 3 授業実践、第2回検討委員会開催（安中市立安中小学校）
12月	1 授業実践、第3回検討委員会開催（安中市立第一中学校） 2 実践校講演会（安中市立第一中学校）
1月	1 実践校事後アンケート実施及び集計 2 まとめ及び協議会資料作成
2月	1 第2回協議会開催 2月3日(月) 群馬県庁 292 会議室 2 文部科学省主催 がん教育シンポジウム 2月14日(金) 実践に役立てるため研修会への参加を県内の教職員及び関係機関へ通知
3月	1 群馬県学校保健審議会 3月7日(水) 群馬県庁 第一特別会議室

④ 保健部局や地域の専門機関等との連携

健康福祉部感染症・がん疾病対策課と連携し、がん診療連携拠点病院、群馬県がん診療連携推進病院、小児がん連携病院の協力のもと、令和5年度「相談窓口一覧」の内容を確認し更新した。学校が外部講師としてがん経験者を依頼したい場合は、健康福祉部感染症・がん疾病対策課が窓口となっている。また、群馬県版「がん教育の手引き」と共に、外部講師派遣実施要項及び各種様式、相談窓口一覧を県総合教育センターのホームページに掲載し、学校が活用しやすいようにしている。



(2) 実践校における外部講師を活用したがん教育の授業

①安中市立安中小学校 (第6学年)

時期	時間	内 容
10月29日	学校保健委員会	○テーマ「心も体も健康に生きるには」 対 象：6年生 内 容：がんとは何か、がんの種類やがんの予防法についての基本的な知識について学ぶことができた。
11月22日	道 徳	○主題名「せいっぱい生きる」 教材名「命を見つめて」 がんに罹患した主人公の話を通して、 本当の幸せについて、自分事として捉え、考えることができた。

②安中市立第一中学校 第2学年

時期	時間	内 容
12月3日	保健体育科・保健分野	○単元名「健康な生活と疾病の予防」 がんについて正しく理解し、今後の自分の生活をどう過ごしていくか考えることを目的とした。身近な人にメッセージカードを作る活動を通して、自分や家族の健康及びがんの予防について自分の考えをもつことができた。外部講師（看護師）をT2として迎え、授業の中で、知識の補足をしたり、生徒への質問に専門的な立場から答えたりしてもらうことができた。
12月11日	学校保健委員会	○テーマ「中学生に知って欲しいがんのこと 正しい理解と健康な生活」 内 容：がんができる仕組みから、がんを避ける生活等、基本的な知識について学ぶことができた。 ○テーマ「がんになって思うこと」 内 容：文部科学省がん教育モジュール教材を活用し、ご自身の体験とがん患者が暮らしやすい社会について、講演をいただいた。

③群馬県立安中総合学園高等学校

時期	時間	内 容
11月7日	LHR	○テーマ「がん患者の支援を中心に」 対 象：1年生 内 容：「がんの治療で大切なこと」から「がん患者の思い」や「がん患者と共に生きる社会」について文部科学省モジュール教材を活用しての講演。
11月11日	保健体育科・科目保健	○単元名：「現代社会と健康 がんの原因と予防・がんの治療と回復」 がん患者との共生を意識し、相手側が「何を望むのか」、「何を求めているのか」について考えることができた。講師との打合せから、講演会で活用されたモジュール教材を授業の中でも活用し、講演会と授業とをしっかりと関連付けることができた。

2 事業の達成度について

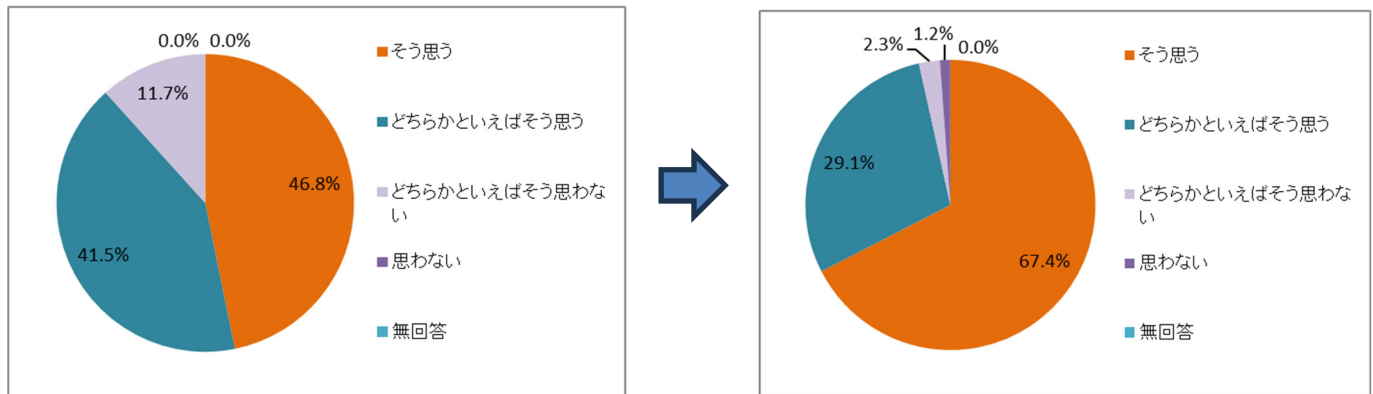
○実践校におけるアンケートの結果から

アンケート結果から、児童生徒のがん教育に関する内容に深まりが見られたが、大きく変動のあった項目を下記に抽出した。がん検診への意識や治療方法、がん患者への理解についての内容に大きな深まりが見られた。

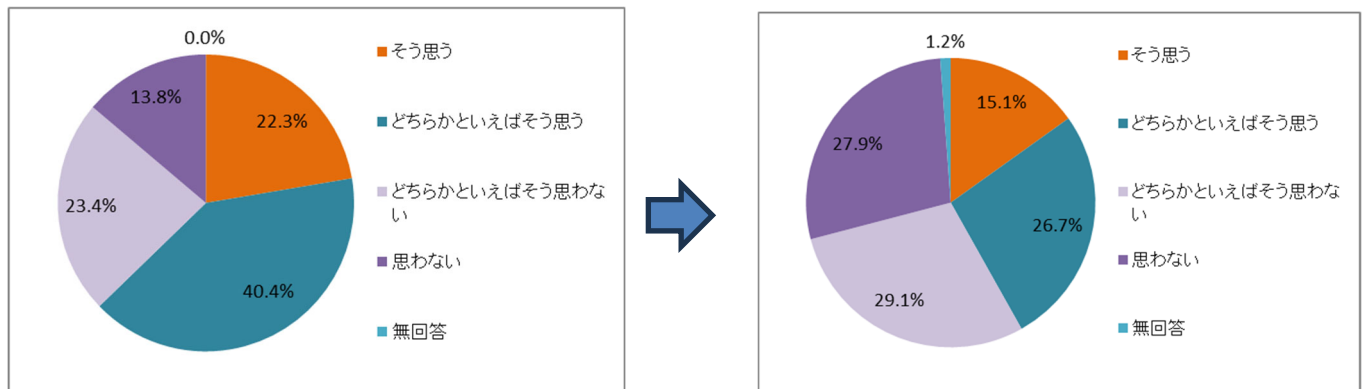
特に、がん経験者（中学校）やがんに罹患の経験のある医師（小学校）に講演をお願いしたことが一つの要因と考えられる。また、検診については、どの講演会及び授業（中学校、高等学校）でも触れられていた。

【生徒の授業前後のアンケート結果】

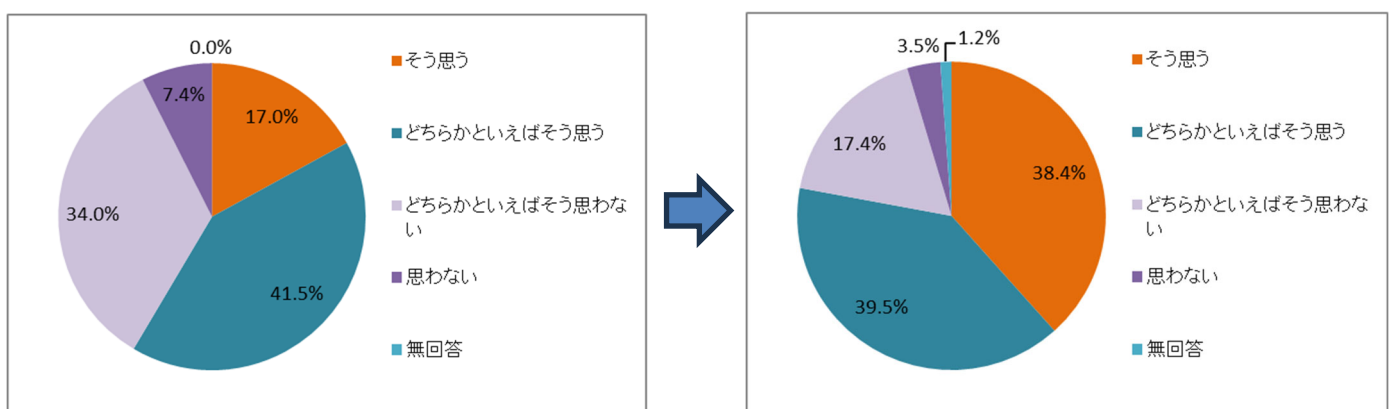
d がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う



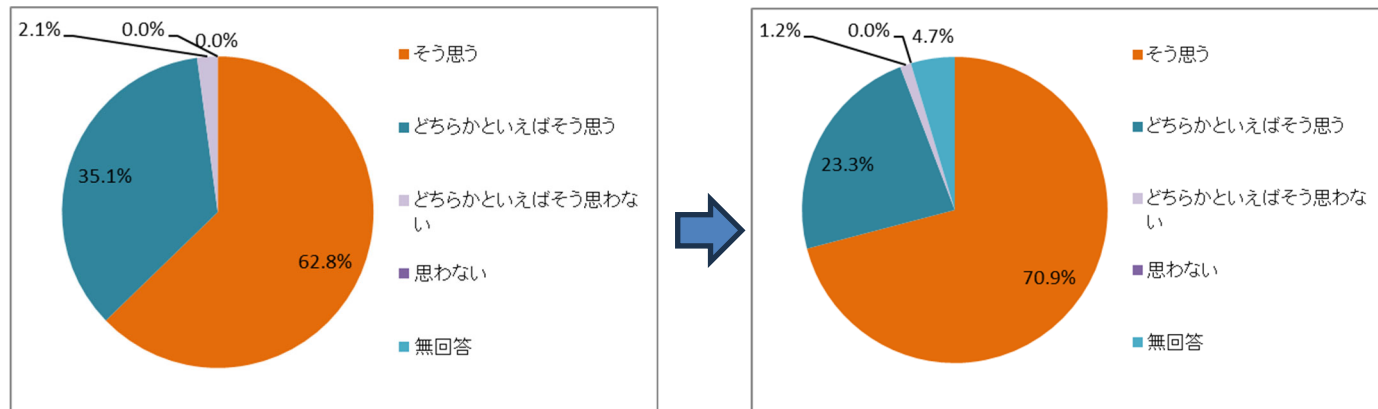
e がんの治療方法はいくつかあるが、医師が決めるものである



f がんになっても生活の質を高めることができる



g がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい



○ 教員や外部講師の資質向上を目的としたがん教育指導者研修会の実施について

学習指導要領の内容、がん教育の指導のポイントや留意事項、外部講師の活用等について研修を行った。また、昨年度実践校における具体的な事例を紹介することで、教員や外部講師のがん教育に対する理解の向上及びがん教育を行うことへの意識の啓発につなげることができた。

3 今後の課題及びその取組の方向性（今回の事業により新たに見えた課題等）

群馬県がんに関する協議会の中で、今年度の取組を踏まえた来年度の方向性について話し合いが行われた。

○ 普段の授業の中でも取り組めるような「がん教育」の形を考えていく。

モデル校の取組は素晴らしいものが多い。この取組をより広めるために、教材の工夫（教師、講師ともにモジュール教材を活用）や外部講師活用の工夫（映像を用いたり、学校医に御願いをする）が必要である。

○ 相談窓口一覧の拡充

がん診療連携拠点病院、群馬県がん診療連携推進病院に相談窓口として、名前を挙げさせてもらっている。がんに関する協議会の中で、認定看護師の活用等も話し合われた。相談窓口を拡充することで、より活用しやすい相談窓口一覧としていく。

上記を踏まえて令和7年度も、外部講師を活用した現代的な健康課題理解増進事業を活用しつつ、がん教育を推進したい。加えて、群馬県作成の「がん教育の手引き」「相談窓口一覧」をしっかりと周知していく。